

## 移動博物館事業 本物に触れる体験を！ ～博物館がやってきた！ in 甑島～

県立博物館

### 移動博物館事業

南北600kmにおよぶ鹿児島県には、なかなか博物館を訪れることができない方もいます。そこで「本物に触れる体験をしてほしい。」という願いから、毎年1か所ずつ島嶼地域での移動博物館を開催しています。今年度は、上甑島において、休校中の薩摩川内市立上甑中学校を会場に、11月4日～7日の日程で開催しました。



【本物！】

### 展示

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒の呼びかけや室内換気等を徹底し、開場しました。

授業で見学に訪れた児童生徒たちからは、甑島では見られないシカ、イノシシ、サルなど動物のはく製に「こんなに大きかったんだ。」などの驚きの声も聞かれ、本物から伝わる様々な情報を楽しんでいるようでした。



【生きているみたい】

また、郷土の自然紹介コーナーでは、甑島の自然について、地質、植物、昆虫、動物の分野ごとに展示解説を行いました。特に、植物では、島内に高い密度で自生するカノコユリを取りあげ解説したり、地質では甑島の立体模型とともに島の成り立ちや地層の特色を紹介したりしました。



【郷土の自然を解説】

### 液体窒素の実験

島内の児童生徒たちを対象に、液体窒素を用いた超低温実験を披露しました。マイナス196℃の世界では、空気の体積が小さくなるなど、驚きの体験をしてもらいました。バラの花を凍らせる実験では、凍らせたバラを握るとバラバラに砕けてしまう様子に、子供たちは歓声を上げていました。



【凍ったバラを握るとどうなるかな？】

### 科学工作など

6日（土）と7日（日）には、竹笛やジュズダマの飾りをつくったり、生きているへびに触れたり、ストーンペインティングを楽しんだりするコーナーを設けました。両日は、地元の里中学校のボランティアに協力をいただき、運営補助として活躍してもらいました。



【里中学校のボランティアの活躍】

人口4,700人余りの甑島ですが、4日間で延べ1,500人近くの参加者がありました。「島の子どもたちにこのような体験をもっとさせたい。」「また来てほしい。」という嬉しい感想もいただきました。今後も継続して、博物館は県内各地で本物の体験と感動をお届けしたいと思います。